

死亡労働災害が増加しています

本年の徳島県内における死亡労働災害は令和7年5月末で**5人**と前年同期（3人）に比べて大幅に増加しており、これ以上の死亡労働災害を発生させない取組が必要となっております。

労働災害は本来あってはならないものであり、これ以上の死亡労働災害を発生させないために、事業者や労働者、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害の防止に努めましょう。

《死亡労働災害の撲滅に向けた取組》

- ☐ 経営トップが「安全宣言」を行い、職場の安全パトロールを実施しましょう
- ☐ 作業手順の遵守状況を確認し、職場内の安全衛生活動の総点検を実施しましょう
- ☐ 労働者の熟練度や作業内容の危険度に応じた安全衛生教育を実施しましょう
- ☐ 高年齢労働者の身体機能の低下に配慮し、職場環境を改善しましょう
- ☐ 労働者の立ち入り制限や誘導員の配置などの安全作業手順を作成しましょう
- ☐ 労働者の健康管理と適正な運行管理を行い、交通労働災害を防止しましょう
- ☐ 伐木等作業においては『チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン』に基づく対策を実施しましょう

【令和7年 徳島県内の死亡労働災害発生状況（1月～5月）】

件数	発生月	業 種	年 齢	死 亡 災 害 発 生 状 況
1	1月	土木工事業	60代	斜面上での運搬作業中、転落した
2	1月	農 業	40代	貯水池周囲で作業中、足を滑らせ池に転落し溺れた
3	1月	警備業	70代	伐倒木に激突された
4	4月	林 業	40代	伐倒作業中、伐倒木に激突された
5	5月	運輸交通業	70代	車両運転中、道路から車両とともに転落し炎上した

**これ以上、尊い人命が失われることのないよう
より一層の取組をお願いします。**